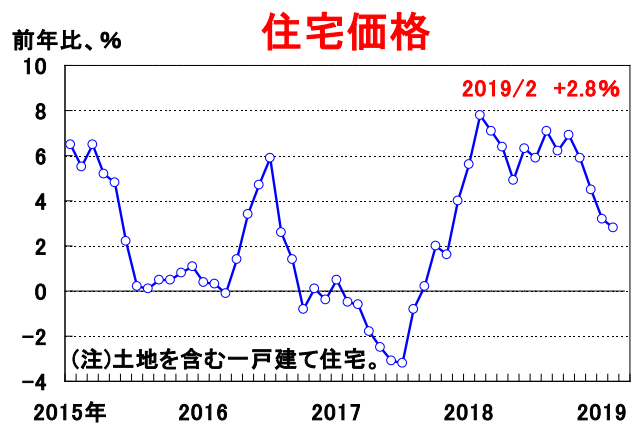
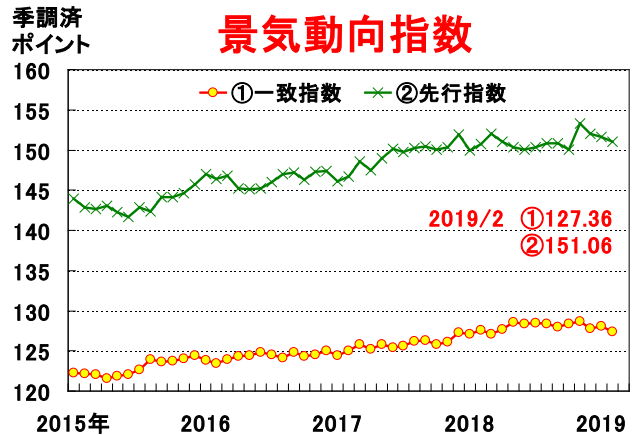
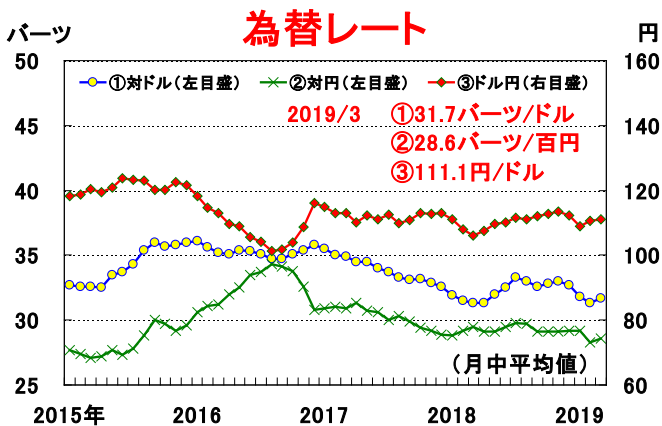
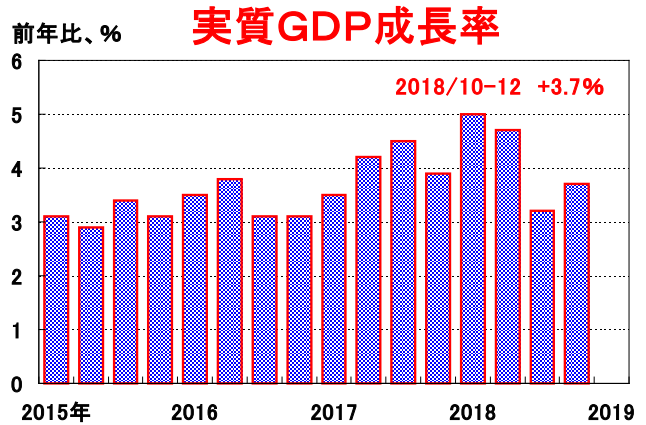
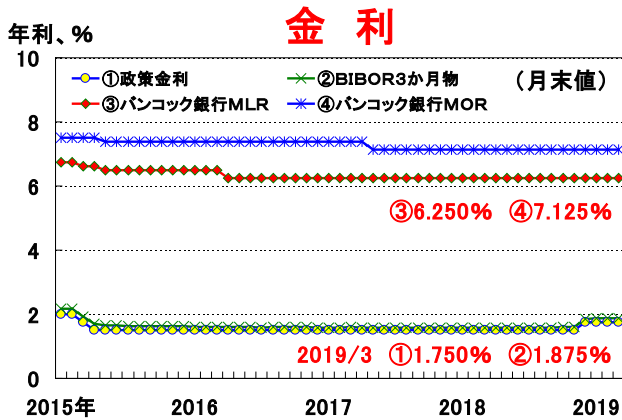


グラフで見るタイ経済 2019年4月号(No. 118)

タイ景気は緩やかに回復している。まず、企業部門をみると、2019年2月の工業生産指数が前月比-1.4%と下落したものの、同月の輸出は前年比+5.9%と4か月ぶりの増加に転じた。輸出を主要仕向地別にみると、日中向けが減少したものの、米国向け(1月:前年比+8.3%→2月:同+97.3%)が急増した。3月の企業景況指数は51.4と中立水準の50を上回り、企業マインドも足元で改善している。次に、家計部門に関しても、2月の個人消費指数は131.0(前月も131.0)と、非耐久財消費の堅調な増加などにより、底堅く推移している。



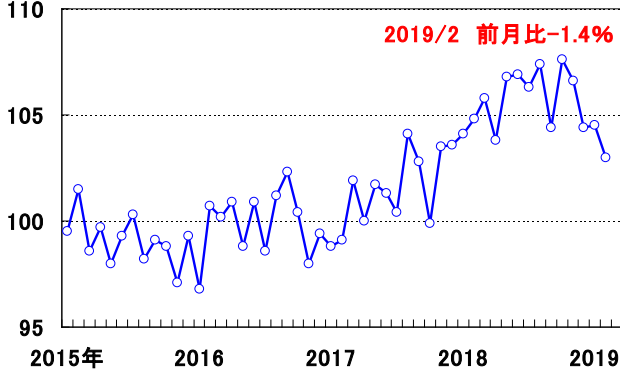
【今月のトピック: 総選挙に政治が混乱、TPP参加申請にも悪影響】 3月24日に、タイでは総選挙が実施された。選挙管理委員会は投票翌日に小選挙区の投票結果を公表したものの、比例代表の結果に関しては、5月9日までに結果を発表する予定である。選挙後に、現政権の反対派の政党が勝利宣言をする一方、支持派の政党も連立政権を維持する構えを示している。政党間の対立に加え、選挙中の不正行為を非難するデモも発生している。現政権は、TPP(環太平洋連携協定)に前向きであり、選挙後に直ちに参加申請を表明する予定であった。しかし、選挙後の混乱によりTPP参加は遅延を余儀なくされそうである。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

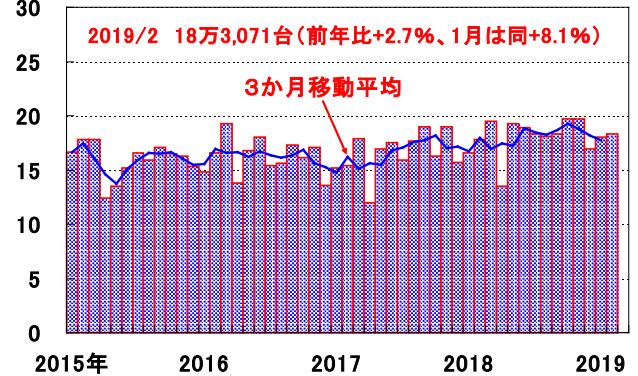
季調済
2011年=100

工業生産指数

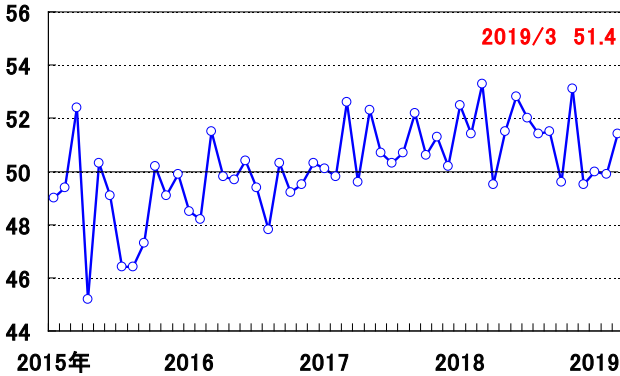


万台

自動車生産台数

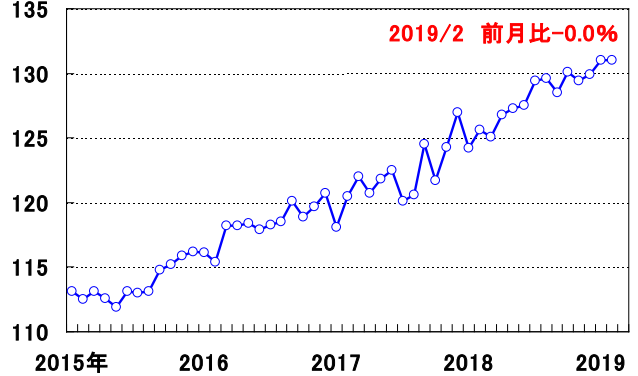


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



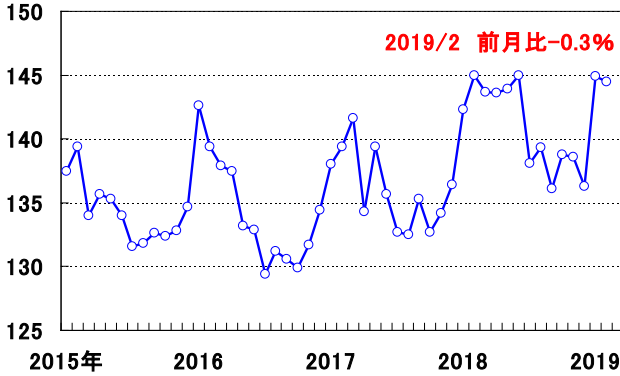
季調済
2000年=100

個人消費指数



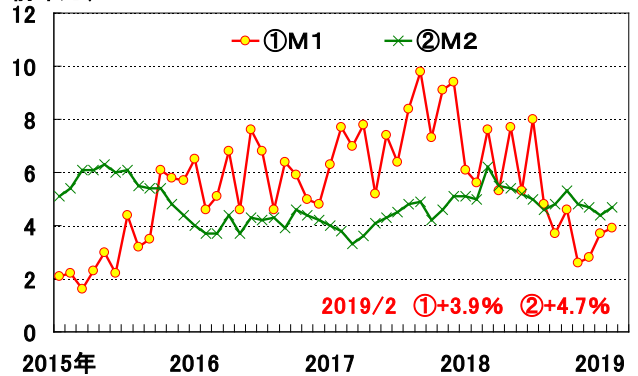
季調済
2010年=100

民間投資指数



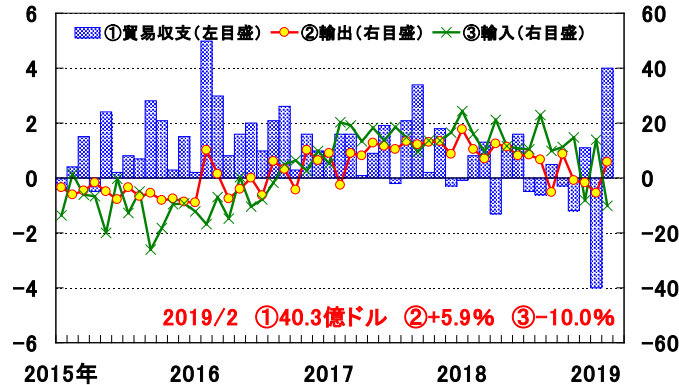
前年比、%

マネーサプライ



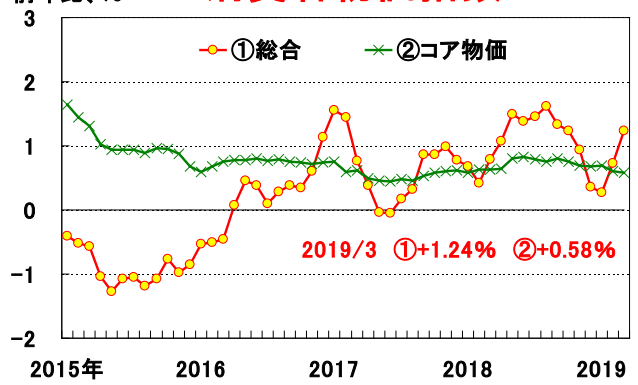
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。